

小山工業高等専門学校・昭和女子大学・東洋大学で出前講座を開催

当協会が提供している学生向けプログラムの取組みの一環として、3つの教育機関で出前講座を行いました。

11月8日には小山工業高等専門学校(栃木県小山市)で、菊池清氏(ウイング株)を講師に、「ツーバイフォー工法の概要」をテーマとした講義を行いました。学生からは「日本では木造の建物は最高で何階建てまで可能か」などの質問があり、木造大規模建築への関心の高さがうかがえました。



小山工業高等専門学校での出前講座。製材や合板、金物等を展示し、生徒がツーバイフォー工法の構造材料の実物に触れる場もつくった。



昭和女子大学での出前講座。これまではリモート開催だったが、ソーシャルディスタンスに配慮し、着席の間隔を空けて対面授業が再開した。

また、11月25日には昭和女子大学(東京都世田谷区)の一般教養「森林と環境」の授業で、麓英彦氏(カナダ林産業審議会)を講師に、「カナダの木材と最新の木造建築」というテーマで講義を行いました。終了後のアンケートでは「カナダの木造建築や森林管理に興味がわいた」「木材利用が環境保護につながることを知り持続可能な社会づくりのために木材の活用について考えていきたいと思った」といった感想が寄せられました。

11月26日には東洋大学理工学部建築学科(埼玉県川越市)で菊池清氏が「ツーバイフォー工法の概要」を、小坂順一氏(三井ホームエンジニアリング株)が「ツーバイフォー工法の生産・施工システム」をテーマとした講義を行いました。対面授業が再開され活気の戻ったキャンパスで、多くの学生を前に講義を行った講師からは、「学生の反応を見ながら講義を進めることができ良かった」との感想をいただきました。



東洋大学での出前講座。対面授業とオンラインを併用しての開催で多くの学生が受講した。